

平成 24 年度 第 1 回展示会 「リオ+20～未来に向けて私たちができること～」開催報告

【1 開催概要】

日時： 2012 年 6 月 11 日（月）～29 日（金） 10:00～18:00 （※土日を除く）

来場者数：179 名

<内訳：自治体 94 名、地域国際化協会 6 名、NGO 27 名、その他 52 名>

【2 展示内容】

今回は、ブラジル・リオデジャネイロで、6 月 20 日から 22 日まで開催された「国連持続可能な開発会議（以下、リオ+20）」をテーマに、環境分野を切り口とした NGO の取組みについて紹介した。リオ+20 の概要や下記団体の活動についての写真やパネル、団体パンフレット等を設置し、来場者に配布した。

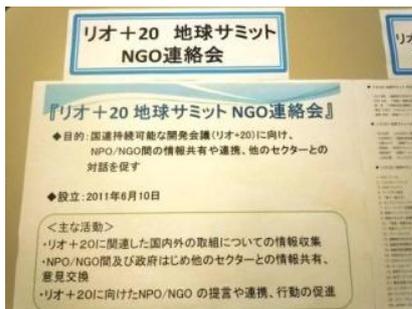
・リオ+20 の概要について

リオ+20 についての実施概要や地球環境問題に関する国際的な取組みについての資料を展示した。



・リオ+20 地球サミット NGO 連絡会

リオ+20 に向け、NGO/NPO 間の情報共有や連携、他セクターとの対話を促す目的で立ちあげられた「リオ+20 地球サミット NGO 連絡会」について紹介。主な活動内容や運営・参加団体の一覧を展示した。



・(公財) オイスカ

(公財) オイスカが取り組む下記の事業について、写真や資料を展示した。

「自然と共生する未来へ向けた世界子ども会議 in 東北」

リオ+20 ジャパンパビリオンの事前プログラムとして、5月12日～13日にイオン株式会社と(公財) オイスカが主催で行った「自然と共生する未来へ向けた世界子ども会議 in 東北」に関する写真を展示。また、当日配布された生物多様性についての資料も配布用に設置。とてもわかりやすくかわいいと来訪者に好評であった。



「海岸林再生プロジェクト」

「海外林再生プロジェクト」は、宮城県名取市の被災した住民の有志をはじめ、地元林業関係者や、研究機関、専門家など多くの方が協力し名取市周辺の海外林を再生させようというプロジェクトである。このプロジェクトは10年間と長期にわたり、また大規模な計画であることから、(公財) オイスカでは、このプロジェクトの募金やボランティアの募集だけでなく、行政各機関との調整や専門家・研究者、企業への協力要請など総合的な立場でコーディネートにあたりサポートしており、その活動の様子がわかる写真や資料を展示した。



・国際環境 NGO FoE Japan

「水 Do! キャンペーン」

国際環境 NGO FoE Japan が実施している「水 Do! キャンペーン」の紹介パネルを展示した。これは、ペットボトルではなく水道水を使用することで CO2・ごみ・社会的コストの削減を促進するためのキャンペーンであり、積極的に自治体への呼びかけも行っている。実際に会議で出される飲料に使い捨て容器を使用していない自治体や、公共施設から順次自動販売機を撤去している自治体の一覧も展示した。

また、展示パネルで紹介していた海外の自治体の取組みについて、自治体・協会関係者等に関心を寄せる来訪者も多くいた。



以上